



研究活動に役立つ デザインの基本

1月8日 [金] 荒牧キャンパス中央図書館ラーニングコモンズ「アゴラ」

研究発表に欠かせないプレゼンシートやポスター作成で役立つ、文字の大きさやフォント、色遣いなど伝わるデザインの基本を学びます。また、ワークショップでは、実際に資料の添削も行うほか、基礎編レクチャーで得た知識をもとに、参加者自身がパソコンで効果的な表現技術を学びます。

基礎編レクチャー 14:20~15:45 定員50名

「伝わるプレゼン資料の作り方」

ワークショップ 15:55~17:15 定員30名

「資料を効果的に見せるデザイン技術」

託児あり

託児締切は12月8日
育児休業中の方も参加可

託児料無料



講師 片山なつ氏 日本女子大学理学部物質生物科学科研究員

高橋佑磨氏 東北大学学際科学フロンティア研究所助教

2010年より、研究発表の資料作成に必要なデザインのノウハウ普及を目的とし、ウェブページ「伝わるデザイン|研究発表のユニバーサルデザイン」をご夫妻で運営。2013年に『伝わるデザインの基本』を技術評論社より出版。

申し込み：12月22日 [火] 締切 ※基礎編レクチャー/ワークショップは別々の申し込みが必要です。

参加希望講座名（基礎編レクチャー/ワークショップ）・氏名・所属（学生は学籍番号）を明記し男女共同参画推進室までメールでお申込みください。定員になり次第受付を終了いたします。

希望者の資料の添削も実施。ポスターやスライド（オリジナル形式及びPDF）を先着順でメールにて受け付けます。